参考様式

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

岐阜市柳津地区

平成25年3月

岐阜県岐阜市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価：評価値	事後評価：見込み・確定の別	事後評価：目標達成度	事後評価：1年以内の達成見込み	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟによる確定値	計測時期	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等：理由	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等：改善策の方向性	総合所見
指標1	地区の人口の増加率	%	3.16	5.00	6.35	確定 見込み ●	○	あり なし	5.11	H24年5月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	名鉄柳津駅の移設や駅周辺の交通環境整備等により、移動利便性や安全性をはじめとする地区内の生活環境が向上したことで、地区の人口は継続的な増加傾向を示している。
指標2	鉄道乗降人員	人／日	2,308	2,400	3,000	確定 見込み ●	○	あり なし	3,183	H24年7月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	事業期間以前より乗降人員は微増の傾向にあったが、名鉄柳津駅の移設に併せ、施設のバリアフリー化、駅前広場、自転車駐車場、駅周辺道路の歩車分離整備などが実施されたことで、安全性・快適性が向上し、更なる増加に繋がった。 また、駅周辺の住宅開発に伴う新たな住民の利用が促進され、乗降人員の大幅な増加に繋がったと考えられ、その後もその増加傾向は継続している。
指標3	地区内通学路の歩道等整備率	%	38.5	41.0	41.6	確定 見込み ●	○	あり なし	41.6	H24年4月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	柳津2号線等の整備によって通学路に歩道等が設置されたことにより、既存の通学路延長に対する歩道等整備の延長が増加し、歩道等整備率が向上した。 歩道等の整備率が増加したことで、学校へ通学する子どもたちの歩行環境の安全性向上に繋がったと考えられる。
指標4	駅アクセス道路の歩行者交通量	人／日	720	1,590	1,380	確定 ● 見込み	△	あり なし ●		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値には達しなかったものの、柳津駅の移転や周辺道路の整備により、駅利用者のアクセスルートが対象路線に移ったことに伴い、歩行者交通量が従前の約1．9倍と大幅に増加した。増加している歩行者の安全な歩行空間の確保に向け、今後も歩行者動線の動向等に注視しつつ、その安全対策について検討していく。
指標5	駅アクセス道路の自転車交通量	台／日	1,420	2,200	3,300	確定 ● 見込み	○	あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	名鉄柳津駅の移転に伴い地区内の自転車交通の流れが変化したことに加え、その対応策として、歩道設置、狭さく、クランク、路面カラー舗装等の自動車の速度抑制や歩車分離といった安全対策を実施したことにより、自転車利用者数の増加に繋がったと考えられる。今後も自転車通行動線等に注視しつつ、その安全対策について検討していく。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価：評価値	事後評価：見込み・確定の別	事後評価：達成度	事後評価：1年以内の達成見込み	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟによる確定値	計測時期	ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等：理由	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等：改善策の方向性	総合所見
その他の数値指標1	コミュニティバスの駅乗降者数	人／日	―		21	確定 見込み ●			23	H24年11月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	名鉄柳津駅の駅前広場整備に伴い、駅前広場への境川地区コミュニティバス（平成21年6月運行開始）の乗り入れが可能となったことから、鉄道の新たなフィーダー路線としての利便性が向上し、継続的な利用者の増加に繋がっていると考えられる。
その他の数値指標2						確定 見込み				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入　　※フォローアップの必要のある指標について記入　　※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	駅関連施設の適切な維持管理	・快適な利用環境の提供に向けた駅周辺施設の環境美化を図るため、自転車駐車場の定期的な清掃、月１回の放置自転車の撤去のほか、毎日、トイレ清掃を継続実施した。	定期的な駅関連施設の維持管理を行うことで、利用者にとって快適な利用環境が保たれた。	柳津地区における駅利用者の安全性、快適性の維持・向上を図る上で主要な施設であることから、今後も快適な利用環境の提供に向け適切な維持管理を継続していく。
	道路関連施設の適切な維持管理	・道路の変状、舗装の劣化状況の確認など、定期的な道路パトロールを行い、各種安全対策を施した道路の機能維持に向け、適切な維持管理を実施した。	定期的な道路パトロールの実施により、異常があれば即時対応する体制を構築することで、地域住民の安全を確保できた。	歩行者や自動車の交通流動の変化等にも注視し、安全な交通環境の確保に向け、継続的な道路パトロールの実施のほか、適切に道路を管理できる体制を維持していく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	歩行者空間の安全対策	・教育施設をはじめとする地区周辺の公共施設の立地状況や定期的な見直しが想定される通学路の確認など、歩行者動線の変化に関する現状把握を行った。 ・地域協議会などの地域活動を通して、交通環境の安全確保に向けた要望把握を行った。	安全対策を施した路線を通行するよう通学路が見直されるなど、歩行者に対する安全性が向上した。	今後も安全・快適に移動できるまちづくりに対する地域住民の意識向上を図るほか、地域協議会等と連携を図りながら、新たな安全対策が必要な箇所については、適切な改善策を検討していく。
	自転車の利用環境の向上	・自転車駐車場の利用秩序を守り、利用しやすくするため、自転車整理員を配置し、整理整頓及び指導などを実施した。	正規の場所に自転車を整列して駐輪するようになるなど、駅利用者の駐輪マナーの向上が図られ、適切な利用環境が維持できた。	放置自転車の把握など、今後も自転車駐車場の利用状況を注視することで自転車駐車場の利用環境の悪化を防ぎ、駅利用者が快適に利用できる利用環境の確保に向けた、必要な対応策を適宜検討・実施していく。

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項
特になし			

都市再生整備計画（精算報告）

岐阜(ぎふ)市(し)柳津(やないづ)地区

岐阜(ぎふ)県　岐阜(ぎふ)市

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市(ぎふし)	地区名	岐阜市柳津地区(ぎふしやないづちく)	面積	82 ha

計画期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ～ 平成 23 年度

目標

大目標:地域の中枢交流拠点の形成による市民交流の促進並びに交流人口の増加等まちのにぎわいの創出
目標1:名鉄柳津駅周辺の整備による利便性の高い地域づくり
目標2:中枢交流拠点の形成による市民交流の推進と交流人口の増加
目標3:安全安心道路空間の整備とコミュニティの再生

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

□本地域は、地場産業である機業が農業の副業として起こり、集落を形成しつつ発展してきたため、住宅と工業が混在した土地利用がみられるとともに、狭あい道路が多く基盤整備水準が低い地域となっている。一方、県都岐阜市と岐阜の玄関口羽島市の間という好立地条件と幹線道路網の整備により、岐阜流通業務団地と二つの大規模商業施設が立地する商業流通拠点として発展しており、今日の年間交流人口は約1,500万人に達している。

□本地区においては、周辺の岐阜流通業務団地や大規模商業施設等への自動車交通が発生集中し、渋滞を避けた自動車が幹線道路から生活道路に進入するため、住民の生活が脅かされるとともに、地域コミュニティの希薄化が危惧されている。

□名鉄柳津駅は、地域の高齢者や学生にかけがえのない交通手段であるが、駅前広場が未整備、かつ周辺道路も狭あいであるため、公共施設巡回バスや自家用車の乗り入れが困難となっているだけでなく、送迎車両による駐車待ちの発生や駐輪場の不足などさまざまな問題が生じている。また、プラットホームが曲線部に位置するため、転落事故対策が喫緊の課題となっており、列車との段差解消や駅改札口等のバリアフリー化が求められている。

□柳津駅周辺整備事業は、旧柳津町第2次総合計画策定時から始まり、第3次総合計画で4大プロジェクトに位置づけられ、平成5年度には柳津駅周辺整備計画が検討された。その後、平成14年度には、社会経済情勢の変化等により事業規模を縮小した移転計画案が方針決定され、平成15年度に地元説明会が開催された。ところが、平成16年度には、岐阜市との合併協議の中で新市建設計画が策定され、新市での事業に位置づけされたことから、一時休止された。

□本地域は平成18年1月に岐阜市と合併したことから、鉄道やバスなどの公共交通の利便性を高めるトランジットセンターを中心とした地域交流拠点の整備などにより、他地域との交流や新市の一体感を醸成するとともに、新市において均衡ある発展が求められている。

課題

□本地区においては、周辺の岐阜流通業務団地や大規模商業施設等へ自動車交通が発生集中し、渋滞を避けた車両が幹線道路から生活道路に進入するため、地区内道路への通過車両の進入抑制や減速、歩行空間の確保など面的・総合的な交通安全対策を推進することにより、子供や高齢者が安全に暮らすことのできる生活環境を確保することが課題となっている。
□名鉄柳津駅は、地域の高齢者や学生にかけがえのない交通手段であるが、駅前広場が未整備、かつ周辺道路も狭隘であるため、公共施設巡回バスや自家用車の乗り入れが困難となっているだけでなく、送迎車両による駐車待ちの発生や駐輪場の不足などさまざまな問題が生じている。また、プラットホームが曲線部に位置するため、転落事故対策が喫緊の課題となっており、列車との段差解消や駅改札口等のバリアフリー化が求められている。
□本地域は平成18年1月に岐阜市と合併したことから、鉄道やバスなどの公共交通の利便性を高めるトランジットセンターを中心とした地域交流拠点の整備などにより、他地域との交流や新市の一体感を醸成するとともに、均衡ある発展が求められている。

将来ビジョン(中長期)

将来都市像を踏まえた都市空間形成の方針においては、これまでの外延的拡大型の市街地形成から、既に整備された都市施設や都市基盤を有効に活用し、生活拠点や都市拠点を地域核としてまとまりのある集約型の市街地形成への転換を図るとしている。そのためには、身近なところで日常生活が可能となるコンパクトな市街地を形成するとともに、自動車に過度に依存せず、公共交通や自転車、徒歩などさまざまな交通手段による移動のしやすさを確保する必要がある。また、それぞれの地域が持つ歴史文化などの優れた資源や特色、地域社会からの発想を生かした多様で個性ある地域づくりが求められる。
柳津地域においては、流通団地、大規模商業施設、高等学校・大学などが集積し、人や自動車が集散する道路環境にあるため、総合的かつ体系的な交通安全対策を推進し、生活道路を安全で快適な歩行者や自転車優先の道路空間とし、コミュニティの再生を図る。また、柳津駅周辺は住民生活を支える多様な都市機能の集積を図るとともに、地域の玄関口に相応しい交通機能や魅力を創出する。これら施策により、岐阜地域との一体性の速やかな確立と均衡のある発展、並びに多様な地域核のある都市づくりを推進し、柳津地域の生活の質の向上を図るとしている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区の人口増加率	%	地区内人口の増加率(住民基本台帳)	地域の魅力、快適性の向上により居住者の増加を目指す	3.16%	H18/H14	5.0%	H23/H19
鉄道乗降人員	人／日	柳津駅の1日当たり乗降人員	駅利用の利便性向上により鉄道駅乗降人員の増加を目指す	2,308	H17	2,400	H23
地区内通学路の歩道等整備率	%	地区内通学路の歩道等整備率(歩道等設置通学路延長／通学路延長)	歩道等の整備により地区内通学路の安全で安心な歩行空間の増加を目指す。	38.5%	H18	41.0%	H23
駅アクセス道路の歩行者交通量	人／日	駅アクセス道路の歩行者交通量	駅アクセス道路の安全安心なみちづくりにより歩行者交通の増加を目指す。	720	H18	1,590	H23
駅アクセス道路の自転車交通量	台／日	駅アクセス道路の自転車交通量	駅アクセス道路の安全安心なみちづくりにより自転車交通の増加を目指す。	1,420	H18	2,200	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
□名鉄柳津駅周辺の整備による利便性の高い地域づくり 地域の主要な交通拠点である柳津駅を移転改築し、併せて駅前広場等周辺を整備するとともに、駅の周辺道路から駅構内（改札口からホーム）まで移動経路等のバリアフリー化や危険箇所の改善を図り、今後の高齢社会を見据えた誰もが安全で快適に公共交通機関を利用できる交通環境を創造する。	名鉄柳津駅移設事業（地域創造支援事業） 柳津2号線（道路）、柳津1号線ほか11路線（高質空間形成施設） 安全安心みち空間事業（まちづくり活動推進事業） 公共施設巡回バス・岐阜市コミュニティバス試行運行（関連事業）
□中枢交流拠点の形成による市民交流の促進と交流人口の増加 名鉄柳津駅や公共公益施設の集積する柳津地域振興事務所周辺を地域のにぎわい拠点として再生するため、駅周辺の道路や自転車等駐車場等の交通施設の整備、並びに駅のトランジットセンター化など総合的な交通環境の整備により、地域の中枢交流拠点を形成するとともに、2つの大規模商業施設を地域交流に取り込むことにより、市民交流の促進、並びに交流人口の増加等まちのにぎわいを創出する。	柳津2号線（道路）、柳津1号線ほか11路線（高質空間形成施設） 名鉄柳津駅公衆トイレ（高質空間形成施設） 名鉄柳津駅自転車駐車場（地域生活基盤施設） コミュニティ活動総合支援事業、公共施設巡回バス・岐阜市コミュニティバス試行運行（関連事業）
□安全安心道路空間の整備とコミュニティの再生 地域の伝統と文化を生かした市民協働のまちづくりと一体的に面的・総合的な交通安全対策を推進することにより、地域内の生活道路を安全で快適な歩行者や自転車優先の道路空間を創出し、コミュニティの再生を図る。	柳津1号線ほか11路線（高質空間形成施設） 安全安心みち空間事業（まちづくり活動推進事業） 名鉄柳津駅周辺土地利用計画策定調査、事業分析調査（事業活用調査） コミュニティ活動総合支援事業（関連事業）

その他

□鉄道を活かしたまちづくり（地域の特性に応じた総合交通政策の展開）
〇公共施設巡回バスの路線等の見直しにより、バスと鉄道の乗り継ぎを実現し、商業施設などへの利便性を充実することで、誰もが移動しやすい交通環境を整備し、安全で安心して暮らせるまちづくりを創造する。
・自動車交通との役割分担
・地域のまちづくりを支える公共交通サービスとの連携
・トランジットセンター（鉄道とバス相互の乗り継ぎ施設の設置、キス＆ライドのための一般車乗降場の整備）の設置とサイクル＆ライドの利用促進
・トランジットセンターを中心とした地域拠点の形成と地域の交通環境の整備

□市民協働のまちづくり活動の推進
〇地域の文化や伝統、地域コミュニティ等地域の個性の発展、並びに地域密着型行政を推進するため、自治会やNPO等まちづくり活動団体の活動を支援し、市民協働のまちづくりを実現する。
・コミュニティ活動総合支援事業（市民活動支援事業、ボランティア支援・促進）

□新市建設計画の総合的推進によるまちづくり
〇新市建設計画事業の実施により、本地域と他地域との交流や新市の一体感を醸成するとともに、均衡ある発展を推進する。
・地域体育館、図書館、文化センター等複合施設整備事業
・都市計画道路羽島署高桑線道路整備事業
・分庁舎整備事業

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,055	交付限度額	422	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
道路		柳津2号線	岐阜市	直	L=180m、A=1,784㎡	19	22	19	22	452	452	452		452	
公園															
古都及び緑地保全事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設（自転車駐車場）		柳津駅自転車駐車場	岐阜市	直	A=900㎡	19	19	19	19	24	24	24		24	
地域生活基盤施設（情報板）		柳津地区	岐阜市	直	N＝6基	19	22	19	22	15	15	15		15	
高質空間形成施設（障がい者誘導施設）		柳津駅公衆トイレ	岐阜市	直	N=1箇所,A=50㎡	19	19	19	19	26	13	13	13	13	
高質空間形成施設（カラー舗装等）		安全安心みち空間事業（柳津1号線ほか11路線）	岐阜市	直	L=2820 m	20	23	20	23	341	341	341		341	
高次都市施設		－			－										
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
地区再開発事業															
バリアフリー環境整備促進事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型														
	沿道等整備型														
	密集住宅市街地整備型														
	耐震改修促進型														
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										858	845	845	13	845	…A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
地域創造支援事業	名鉄柳津駅移設事業	柳津町梅松1丁目ほか	岐阜市、名古屋鉄道㈱	直	L=85m、A=56㎡	19	20	19	20	418	418	183	235	183	
事業活用調査	名鉄柳津駅周辺土地利用計画策定調査	柳津地区	岐阜市	直	－	19	19	19	19	4	4	4		4	
	事業分析調査	柳津地区	岐阜市	直	－	21	23	21	23	5	5	5		5	
まちづくり活動推進事業	安全安心みち空間事業	柳津地区	岐阜市	直	－	19	21	19	21	18	18	18		18	
		－			－										
合計										445	445	210	235	210	…B
													合計(A+B)	1,055	

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○） 直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
岐阜市コミュニティバス試行運行	市内一円	岐阜市		4地区			○		18	－	26
公共施設巡回バス	柳津地域	岐阜市					○		12	21	10
コミュニティ活動総合支援事業	市内一円	岐阜市					○		17	－	5
合計											41